

第7期介護保険事業計画のための地域分析・検討結果記入シート

2019/1/21時点

保険者名 田 村 市

活用データ名・指標名	指標ID	単位	備考	データの値												全国平均等との比較	全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)	設定した仮説の確認・検証方法	問題を解決するための対応策(理想像でも可)
				自保険者			都道府県平均			全国平均			比較地域(県内A市)						
				H27	H28	H29	H27	H28	H29	H27	H28	H29	H27	H28	H29				
認定率	B4-a	%	見える化・時系列	18.6	18.6	19.0	18.9	18.9	19.0	17.9	18.0	18.0	17.3	17.7	18.0	認定率は全国平均・比較地域より高い(県平均は同等)傾向にあるが、調整済認定率は全国平均・比較地域より2ポイント低い。県平均より3ポイント、県平均より2ポイント低い。全ての指標が年々伸びている。	①認定率が高いが、調整済認定率はかなり低いことから、後期高齢者が多いと言える。 ②要介護度が重度化するまで認定を受けない。 ③後期高齢者が多く、一気に具合が悪くなり、介護度が高くなる。 ④元気な前期高齢者が多いのではないかと。 ⑤今後、高齢者数は増加していく。	①第1号被保険者の年齢分布を確認 ②重度・軽度認定者の年齢を確認 ③重度認定者の認定経過の確認	①介護保険制度の周知徹底 ②地域包括ケアシステム(自立支援・重度化防止の取組)の深化・推進 ③介護予防事業の強化 ③若年層からの介護予防に対する意識づけ
調整済み認定率	B5-a	%	見える化・時系列(他地域と比較)	15.0	15.0	15.5	17.0	17.2	17.5	17.9	18.0	18.0	17.1	17.7	18.2				
調整済み重度認定率(要介護3~5)	B6-a	%	見える化・時系列(他地域と比較)	6.6	6.8	6.7	6.5	6.5	6.6	6.2	6.2	6.3	5.4	5.6	5.6				
調整済み軽度認定率(要支援1~要介護2)	B6-b	%	見える化・時系列(他地域と比較)	8.3	8.3	8.9	10.5	10.7	10.9	11.7	11.7	11.7	11.7	12.1	12.6				
受給率(施設サービス)	D2	%	見える化・時系列	3.4	3.6	3.6	3.3	3.3	3.4	2.8	2.8	2.8	2.5	2.4	2.3	施設及び在宅サービスともに受給率が国県・比較地域より高い。	①在宅介護希望者が多い。 ②施設数が少ない(待機者多数)ため、入所までの間、在宅サービスを余儀なくされる。 ③在宅希望者は年々減少or高齢者世帯の増加or家族介護ができない。 ④重度要介護者が多い。 ⑤居住系サービスは、所得等による負担軽減措置がない。	①居住系サービス事業所数の確認 ②老健、特養施設数の確認。待機者数の確認。家族構成・状況に対する意識づけ ③施設数の増加 ④居住系サービスの負担軽減措置の創設(法改正)	①地域包括ケアシステム(自立支援・重度化防止の取組)の深化・推進 ②若年層からの介護予防に対する意識づけ ③施設数の増加 ④居住系サービスの負担軽減措置の創設(法改正)
受給率(居住系サービス)	D3	%	見える化・時系列	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1	1.2	居住系サービスは国県・比較地域より低い。施設は年々上昇、在宅は年々減少している。			
受給率(在宅サービス)	D4	%	見える化・時系列	11.5	11.1	10.4	11.3	10.9	10.1	10.6	10.5	9.9	10.7	9.4	9.4				
受給者1人あたり給付月額(在宅および居住系サービス)	D15-a	円	見える化・時系列	113,949	115,901	121,107	112,117	114,536	122,732	116,178	117,649	125,334	111,583	121,567	125,370	【給付月額】認知症対応型共同生活介護以外の指標は、国の水準を下回っている。	国水準より低いのは、サービスを受けたがらないのか、金銭的な課題があるのか、必要ないのか。		
受給者1人あたり給付月額(在宅サービス)	D15-b	円	見える化・時系列	102,734	104,632	109,267	103,273	105,534	112,977	106,133	107,724	114,945	99,684	109,536	112,917	全指標とも県とはほぼ同水準である。	事業所不足や介護者の事情などの理由の代替策として施設サービスに依存しているのではないかと。		
受給者1人あたり給付月額(訪問介護)	D17-a	円	見える化・時系列	50,211	49,656	55,256	45,792	47,760	54,960	49,696	51,946	61,607	34,850	41,145	41,710	比較地域とは訪問介護のみ高い。			
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問介護)	D31-a	回	見える化・時系列	17.4	17.7	20.0	15.4	16.8	19.7	15.4	16.8	20.9	11.6	16.1	16.2	認知症対応型共同生活介護は国県水準を若干上回っている。	グループホーム数は充実している。	ケアマネや利用者に対するヒアリングなどによる実態調査	
受給者1人あたり給付月額(通所介護)	D17-f	円	見える化・時系列	58,803	59,936	65,546	61,878	61,551	69,751	66,517	64,813	74,038	60,096	68,017	71,114	通所リハ以外の指標は年々上昇している。	介護提供事業所や介護職員数は足りているか。	事業所・介護職員数の調査	
受給者1人あたり利用日数・回数(通所介護)	D31-e	日	見える化・時系列	6.4	6.8	8.0	6.9	7.1	8.5	7.6	7.5	9.2	6.8	9.0	9.4	通所リハは横ばいである。	高齢者数・認定者数が増加している。	利用者の家族構成を確認(高齢者のみ世帯かどうか)	
受給者1人あたり給付月額(通所リハ)	D17-g	円	見える化・時系列	55,938	57,271	55,597	57,622	56,533	56,833	63,872	62,421	61,798	65,626	65,671	65,265	【利用日回数】全指標とも国水準より低い。	短期間でリハビリをやめてしまうのではないかと。(本来は概ね維持だが、改善が見込めずあきらめてしまう)	介護給付の適正化(ケアプラン点検、給付適正化システムの活用)	
受給者1人あたり利用日数・回数(通所リハ)	D31-f	日	見える化・時系列	5.1	5.3	5.0	5.7	5.6	5.6	6.4	6.3	6.2	6.7	6.7	6.6	県水準とはほぼ同等。	比較地域と比べ訪問介護が高いのは高齢者単身世帯が多いのではないかと。	在宅で高齢者を支える家族に過度な負担がかかっているか、状況について調査	
受給者1人あたり給付月額(短期入所生活介護)	D17-h	円	見える化・時系列	76,570	77,105	79,131	75,816	76,274	79,238	90,782	90,899	93,727	82,252	83,724	88,678	通所リハ以外の指標は年々上昇している。			
受給者1人あたり利用日数・回数(短期入所生活介護)	D31-g	日	見える化・時系列	8.7	9.0	9.3	9.1	9.3	9.5	11.1	11.3	11.5	10.2	10.4	10.9				
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型共同生活介護)	D17-q	円	見える化・時系列	247,395	245,845	250,140	246,989	243,891	251,098	245,658	243,864	249,261	245,714	245,660	250,592	通所リハは横ばいである。			